じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第22号
平成25年
9月1日発行

発行元
（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成二十年六月一日創刊

春風駘蕩～風の便り～

お盆を送り火で終えたのも束の間、夏の名残りと秋の兆しが行き交う九月を迎え、早くもお彼岸が間近な時候となりました。とはいえ、猛暑の炎熱を逃れてほっと一息ついたところで、夏の疲れを癒すには今暫くの時間が必要であるように思います。

皆様は、お元気にお過ごしでしょうか。

九月は旧暦で長月、また、いろどり月という美しい異名もあるそうです。

たしかに、名月を愛でつつ秋の夜長に浸り読書三昧、そんな豊かな風情を味わってみたいものだ、などと性懲りもなく妄想に耽るのです。が、所詮、無粋な私どもには縁のない情景で、相も変わらず日々、せわしなく過ごしている次第です。

さて、じゅんぷうでは、いろどり月の名に恥じない催しを、職員一同で準備していきます。

皆様におかれましても、寝冷えなどなさらず、是非、爽快な季節をお楽しみ下さい。

施設長　吉田　巌

第二四回　全国介護老人保健施設大会

七月二四日～二六日の三日間、石川県金沢市で開催されました第二四回全国介護老人保健施設大会におきまして、当施設より通所リハビリ介護職の長谷川純が、当施設の感染予防の取り組みについての演題を発表致しました。じゅんぷうでは毎年、ケアの取り組みを全国へ発信しております。

↑演題発表中の様子

↑発表終了後、記念撮影

管理栄養士より

細菌性食中毒について

ノロウイルスが、冬場に猛威を奮ったのがまだ記憶に新しいですが、気温が上がる夏場や残暑厳しいこの時期は、細菌性食中毒に注意が必要です。主なものをご紹介します。

①腸炎ビブリオ

海水に生息し、海水温が二十℃を超えると盛んに増殖します。生食する刺身は要注意。水道水では増殖しないので、流水でしっかり洗うことがポイントです。また、魚介類を扱った包丁やまな板を十分洗浄せずに、サラダで使用する野菜を切り、食中毒が発生することも多いようです。二次汚染にも注意が必要です。

②黄色ブドウ球菌

人や動物の皮膚や粘膜、化膿した傷口等に存在します。健康な人でも、三～五割の人が黄色ブドウ球菌の保菌者だといわれています。しかし、少量の菌数を含む食品を摂取しても食中毒を起しませんので、予防は決して難しいことではありません。

手洗いは洗浄剤でしっかりと行い、手や指に傷のある場合は、直接食品に触れないようにして下さい。食品を室温で長時間（二時間以上）放置せず、調理後はできるだけ早く食べるようにして下さい。

安全でおいしい食生活のために、日々ご注意下さいね。

管理栄養士　高山　陽子

相談室よりこんにちは

お知らせ①

詐欺事件にご注意下さい。

最近よくニュースで耳にされると思いますが、お一人暮らしや高齢者夫婦世帯をねらった詐欺事件が増えています。実際に京都市内でも区役所職員を名乗り「今三万円支払えば払いすぎているお金の返金が定期的にありますよ」といいお金を騙し取ろうとした「還付金詐欺」や頼んでもいない商品を送りつけ代金を請求する「送りつけ商法」などが発生しています。もし少しでも「おかしいな」と思われた場合は、即判断はせず、ご家族など身近な方や区役所または警察などへご相談下さい。

お知らせ②

平成二五年度高齢者インフルエンザ予防接種（六五歳以上）の接種料金が二千円に改定されます。接種料金の減免もありますが事前に申請手続きが必要となります（自己負担〇円、一〇〇〇円，一五〇〇円のいずれか）。詳しくは申請手続きがはじまる秋頃（十月頃）に市民新聞等でお知らせがある予定です。なお、ご入所中の方には施設からもご案内を差し上げますのでご確認下さい。

職員紹介

今年度は数多くの新人が入職し四月より勤務しております。今回は四階フロア、五階フロアの職員を紹介します。

（右から）

山口聡美（四階）：ご利用者様と丁寧に関わり、何事にも頑張って取り組んでいきたいと思います。

内藤優太（四階）：笑顔と丁寧さを忘れず、頼られる存在となれるように頑張っていきます。

大庭彩香（五階）：持ち前の笑顔でご利用者様と毎日楽しく過ごしていきたいです。

畠山夕佳（五階）：フロア全体明るくなるよう毎日笑顔を忘れずに頑張ります。

じゅんぷうHP　http://www.junepooh.com/